

ことから「良」が見込まれております。日高管内におきましては、「穂数」が「やや少ない」、「1穂当たりのもみ数」は「やや多い」、「全もみ数」で「やや少ない」、また「登熟」は「やや良」と見込まれていることから、作柄は「平年並み」が見込まれております。



本町においては、先月に、日高農業改良普及センターが実施した不稔調査において、圃場間における差は見られるものの、昨年より不稔が「少ない」ことが報告されております。

また、同普及センターによる8月15日現在の牧草の状況については、一番草において晴天が続いたことにより生育が順調で、降雨により収穫が遅れた圃場もみられました。平均収量は平年並みとなっております。二番草において生育は順調なものの、一時的な降雨により収穫作業の遅れが見られております。

また、飼料用とうもろこしについては、春先の低温、多雨による起耕作業の遅れによって、播種作業が遅れておりましたが、その後の高温により生育は順調で、登熟も進んでいると見込まれ

ております。

次に8月末現在における新冠町農協取り扱いの農作物の販売状況について申し上げます。

9月以降の収穫となる水稲を除く総販売高は、資料にありますとおり、前年対比3・2ポイント増の2億9千万円で、前年を上回る状況で推移しております。

主な要因としては、本町の農作物の中心となり、基幹作物として重要な作目であるピーマンにおいて、春先の低温が生育に影響したことなどから反収が前年比6・4ポイント減で推移しておりますが、販売単価は前年より高い水準で推移していることで、販売金額において前年より4・5ポイント、889万円増加していることが挙げられます。



▲6月20日、ピーマン共同選果開始の様子

教

育委員の活動について

7月に札幌市で開催された北海道市町村教育委員研修会に今年も参加し、家庭教育、発達障害支援等に関わる研修を行いました。

また、今年度、新冠中学校卒業生2名が入学している北広島市にある白樺高等養護学校を視察し、元気に活動している生徒を激励するとともに、特別支援における進路指導の在り方について話し合ってきました。

8月末の2日間は、小中学校及び認定こども園ド・レ・ミの学校訪問を行い、授業の様子を参観し、学校・園の経営の推進状況について理解を深め、今後の取組について指導助言をしまりました。

学校教育の推進について

各小中学校では、教職員の資質向上のため、それぞれの学校において設定した研究主題に基づく校内研修が行われ、P D C Aサイクルを機能させた研修が行われており、2学期中に予定している学校の課題を解決していく公開授業に向けた取組が進められております。

また、9月2日には、新冠町教育研究協議会の一次研究会が行われ、教科部会毎に分かれた研究授業をとおり、指

導方法や学力向上の取組等の研究協議が行われました。

2点目は、生徒指導についてであります。現在、各小中学校とも児童生徒に關わる大きなトラブルは発生しておりませんが、一部、不登校の生徒がおりますので、家庭や関係機関との連携の下、その指導の充実に取り組んでおります。

そのため、8月には新冠町児童生徒サポーターチーム会議を開催し、学校関係者や警察の駐在所長のほか、今年度から室蘭児童相談所やこたにがわ学園、本年度からスタートすることも発達支援センター等も加わり、町内関係機関との間で、児童生徒の安全・安心、不登校・いじめ問題等について協議し、連携を深めております。

今後、学校ボランティアの支援も検討しているところであります。3点目は、豊かな心身の育成についてであります。

1つ目は、北海道中学校体育大会においては、剣道女子個人戦、柔道男子、女子各個人戦に出場しましたし、7月には室蘭市で行われた日胆地区吹奏楽コンクールに、新冠中学校吹奏楽部が中学校C編成の部で出場し、銀賞となったところであります。

2つ目は、学校プールの開設についてであります。今年度も新冠小学校と朝日小学校の2か所で学校プールを開設しました。夏休み期間中において

にあわせ、保育士に対する実地研修も行われ、音楽を身近に感じる教育、保育活動への展開に繋げる実践的な研修を実施いたしました。

2学期以降は、小学校との連携の強化や幼児の基本的な生活習慣の定着などに力を入れたいと思っております。

社会教育の推進について

1点目はレ・コード館事業についてであります。

7月1・2日、札幌市にある北海道開拓の村におきまして、3年目の出張レ・コードコンサートを実施いたしました。L Pレコード約500枚を持ち込み、リクエストコンサートや蓄音器によるコンサートを実施し、定期的な開催への取組を行なったところであります。

2点目は社会教育委員の活動についてであります。事業については、社会教育委員が主体となり昨年策定した社会教育中期計画に基づき実施しているところですが、日高管内の社会教育委員が集い資質の向上を図る研修会を10月に新冠町で開催することが決定し、現在、生涯教育充実のための実践交流の準備を進めております。

3点目は、青年団体連絡会議が主催した「ふるさと盆踊り」であります。本年度は開町130年・町制施行50年の記念事業として「新冠音頭の復活」をテーマに開催前から幾度かの講習会を実施

して開催したところであります。

約1,000人の観客が集い、記念事業にふさわしい事業、そして新冠の夏の風物詩としての事業となったと思っております。



▲8月13日、ふるさと盆踊りの様子

4点目は、放課後子ども教室についてであります。

4月から、町民センター内で開設しております子ども教室は現在176名の登録があり、大変好評を得ております。

8月5日には夏休み特別企画として、新冠町青年の家において、「ペットボトルいかだ」を作成し、新冠川において浸水式を行うなど、プログラムの充実を図っているところであります。

5点目は社会体育、青少年事業に係る取り組についてであります。恒例となりました、少年アドベン

チャーランド事業では、旧若園小学校跡に開設された、こたにがわ学園まで28名の小学4〜6年生までの児童が町民センターより自転車により移動し、1泊2日のキャンプ体験を行いました。地域の先生を活用して、木の種類や川の成り立ちを学ぶとともに、実際に目で見て、手で触れた体験を行っております。

8月28日には、チャレンジスポーツINにいかつぷ「北海道マラソンに挑戦」を行いました。当日約150名もの参加があり、今回の130周年事業のテーマであります「ふるさとへの誇り」と思い、未来へつなげよう」のとおり、町民一人一人が繋いで、42・195キロ走破し、北海道マラソン男子優勝の記録を破り、成功裏に終了することができました。

教育委員会の業務評価について

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況等について、自己評価を行い、その評価内容に基づき各学校の学校評議員の方や社会教育委員より外部評価をいただき、議会へ評価報告書を提出させていただきました。

今後、この評価結果に基づき、その課題の解決に向けた改善を進めるとともに、教育委員会の活動の活性化を図ってまいりたいと思っております。